

# 多摩川だより

平成 26 年  
12 月 22 日  
No. 1



東京都島しょ農林水産総合センター振興企画室  
〒100-0212 東京都港区海岸 2 丁目 7 番 104 号  
Tel 03(3454)1953 Fax 03(3454)1955  
ホームページ <http://www.ifarc.metro.tokyo.jp>

## イワナとヤマメの自然交雑種を採集しました

### イワナ×ヤマメの自然交雑種

多摩川水系日原川支流での調査でイワナとヤマメの自然交雑種(以下、交雑種)を採集しました。

日原川は、東京都最高峰雲取山(標高 2,017m)を源として奥多摩町を流れる流程約 21km の典型的な溪流です。



写真 1 日原川支流の景色

調査は 11 月下旬に、日原川との合流点から上流に約 200 m、標高差 100m の区間で実施しました。

採集魚は、合流点近くでは、ヤマメ(写真 2 右)主体、上流へ行くに従い、ニッコウイワナ(写真 2 左)主体となりました。



写真 2 ニッコウイワナ(左)とヤマメ(右)

交雑種は、調査区間の最上流部で、ニッコウイワナに混じり 1 尾採集されました。

魚体は全長 22.1cm、体重 109g と比較的大型個体で、交雑は数年前に起こったと考えられました。



写真 3 イワナ×ヤマメの交雑種

交雑種の顔つきはイワナ似で、体側にはヤマメ由来のパターンが薄く確認できます(写真 3)。背面には

虫食い模様があり、その模様からイワナとヤマメの交雑種は一般的に「カワサバ」などと呼ばれます。

日原川水系では、同様の交雑種が以前から時折採集され、この地域では“うんねい”という俗称で呼ばれていたそうです。

後日、ミトコンドリア DNA による解析で、母親がニッコウイワナであることがわかりました。

### ヘビを食べたヤマメ

溪流魚の話題をもう一つ。

少し前の話になりますが、平成 24 年 5 月、多摩川の支流、浅川の最上流支流”醍醐川“での調査でヘビを食べたヤマメを採集しました。



写真 4 ヘビを食べたヤマメと食べられたヘビ

このヤマメは、全長 23cm、体重 173g、口から尻尾がはみ出した状態(写真 4 左上)で採集されました。尻尾を引っ張り出してみると、全長約 40cm、体重 20g のヘビが出てきました。ヘビは頭がすでに消化された状態でした。

漫画などで、イワナがヘビを食べると紹介されていますが、ヤマメがヘビを食べたという話は聞かないので、ヤマメの貪欲な食性を知る、貴重な記録となりました。